

実社会対応プログラム(研究テーマ公募型研究テーマ)

- ◆課題: 「LGBTおよび性的少数者をめぐる社会的ダイバーシティの実現に関する研究」
- ◆研究テーマ: 「生殖補助医療・社会的養護によるLGBTの家族形成支援システムの構築」

研究期間: H30.10~2021.9
委託費総額: 13,514千円

<研究代表者>

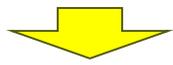
二宮周平: 立命館大学法学部 / 教授



<専門分野> 家族法、ジェンダー法
<Webページ>
<http://research-db.ritsumei.ac.jp/Profiles/33/0003288/profile.html>

<研究目的・概要>

LGBTカップルの家族形成に関する現状

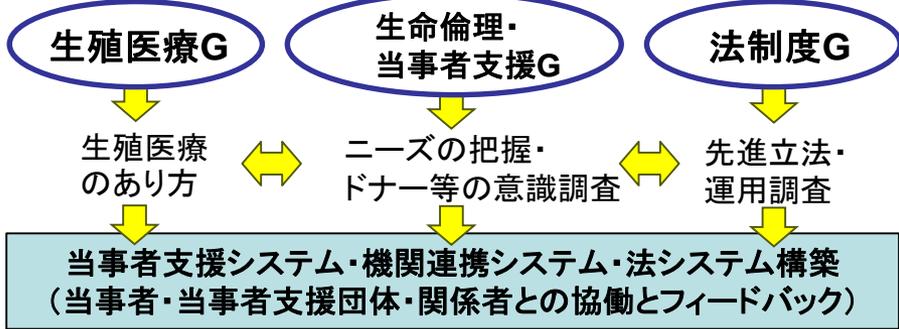


- ①当事者のニーズが把握されていない
- ②生命倫理、社会的規範の観点からの問題が克服されていない
- ③子の出自を知る権利が保障されていない
- ④ドナーや代理懐胎者、養子や里親制度の実親の尊厳が確保されていない
- ⑤必要な情報提供と適切な医療及びカウンセリングを組み合わせた当事者支援がなされていない
- ⑥医療機関・行政・福祉団体等の連携がなされていない



こうした課題の解決へ向けた調査・研究を行い、LGBTカップルの家族形成を支援する

<研究計画の特徴>



<目標とする研究成果>

- (1) LGBT当事者の家族形成のニーズ、肯定する場合の諸課題を解明
 - 子の出自を知る権利の保障、子の養育環境の安定化、ドナー等の尊厳の確保
- (2) 法制度に関する試案、当事者支援のガイドラインと機関連携のシステムを作成
 - ・生殖補助医療や養子縁組等の利用を保障する法制度構築
 - ・当事者の意思決定支援、子への告知支援、家族面接などの援助方法と、医療機関、臨床心理等専門家、行政機関(児童相談所等を含む)、福祉団体との連携手法の具体化

<将来展望>

- (1) LGBT及び性的少数者の可視化とライフスタイル・家族生活の多様性の社会的承認
- (2) 難治性不妊のため自然生殖で子をもうけることのできない人の家族形成を支援
 - 社会的ダイバーシティの実現